

幼保小接続アドバイザーを派遣します

園児・児童の交流や
職員の保育体験の
振り返り、協議の進め方
について知りたいな



アプローチカリキュラムや
スタートカリキュラムを
見直す視点は？



「接続カリキュラム」と
「架け橋期のカリキュラム」
はどう違うの？
どう編成していくの？



私たちが一緒に考えます!!

【藤原厚子アドバイザー】

【川上さつきアドバイザー】



幼保小接続アドバイザー（架け橋アドバイザー）として
関係者の皆さんをつなぐお手伝いができればと考えています。

実際の子どもたちの姿を参観したり、様々な機会に対話を深めたりして、お互いの教育・保育を理解することが、「架け橋期のカリキュラム」の編成につながっていきます。

- (例) ☆園と小学校の合同研修会
- ☆市町村が開催する研修会
- ☆管理職の連絡協議会
- ☆園児と児童の交流・
職員の保育体験、授業見学後の研修
- ☆「架け橋期のカリキュラム」開発会議



生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる 重要な2年間・・・『架け橋期』

幼保小の架け橋プログラムの実施に
向けての手引き（初版）

令和4年3月31日
文部科学省



※施設類型の違いを越えて連携

申込み
問い合わせ先

鳥取県教育委員会事務局西部教育局

TEL：0859-31-9773

ホームページ：<https://www.pref.tottori.lg.jp/seibukyoiku/>

※依頼文・報告書は西部教育局HPにある様式をダウンロードしてください。



西部教育局HP